

令和8年 7.18(土) ▶ 10.12(祝)



特別展

夢の市

南吉を映す主人公たち



南吉の生家と常夜燈

主人公のモデルは南吉自身!? そんな小説を扱った各種イベントを同時開催

展示
会期中

1 ミュージアムトーク

学芸員が企画展会場で解説をします。

時 7/19日、8/2日、23日、9/21日、10/4日、
10日 11時～

2 新美南吉読書会 ～「川」くA～

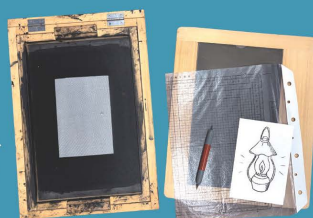
特別展で紹介する「川」くAを読みます。年間を通して行われている読書会ですが、この回だけの特別参加もできます。

時 8/23日 14時～16時
場 記念館 会議室
料 この回だけなら無料
申 電話または直接記念館へ

3 ガリ版体験

南吉が借金してまで購入したガリ(謄写)版を使った印刷体験。同じ絵柄でハガキ5枚に印刷します。

時 8/29日
①10時30分～12時
②13時30分～15時
場 記念館 会議室
※汚れてもいい服装でお越しください。
料 300円
申 7/11日 9時30分～
電話または直接記念館へ
※1件の申込は3名まで



4 SNS企画「#花を埋める」を投稿しよう

小説「花を埋める」にちなんで、小さな別天地をつくる遊びをしよう。Xか、Instagramで作品写真を投稿したら、ごん吉くんが紹介するかも!? 「#花を埋める」のハッシュタグを忘れずにつけてね。詳細はHP。



新美南吉記念館

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1
TEL (0569)26-4888 FAX (0569)26-4889

■開館時間 9時30分～17時30分
■休館日 7/21(火)・27(月)・8/3(月)・10(月)・17(月)・24(月)・31(月)・9/7(月)・8(火)・14(月)
■観覧料 常設展観覧料220円(中学生以下無料)で特別展もご覧いただけます。

【交通】名鉄河和線/半田口駅より西へ徒歩20分 知多半島道路/半田中央ICより東へ5分
半田市地区路線バス「ごんくる」/知多半田駅(雁宿ホール前)の停留所より15分

特別展

絶筆「天狗」の原稿
作品に欠かせないものが
記されている。

虫の夢



南吉を映す主人公たち



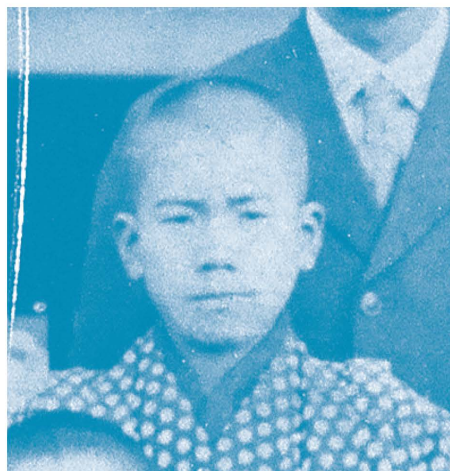
新美南吉の作品というと、皆さんは何を思い浮かべますか？「ごんぎつね」や「手袋を買いに」のように動物を主人公とした童話を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？しかし、実際には南吉作品の中でも動物が主人公のお話はごく一部です。

主人公は動物のほかに、子どもだったり、大人だったり……、南吉を知る人が読むと、南吉が身近なものや人を題材によく作品を書いていることが分かります。これは彼の作品の一つの特徴と言って良いでしょう。さらには、主人公が南吉自身ではないかと推定される作品もあります。実際の南吉とは異なる創作が加えられながらも、南吉の思い出、理想、ままたらない現実など様々な思いが込められています。

今まで、南吉の自伝ともいえるような作品はあまり知られてきませんでした。本展ではいくつかの作品のあらすじをご紹介します、南吉が作品に何を込めようとしたのかを探ってきたいと思います。



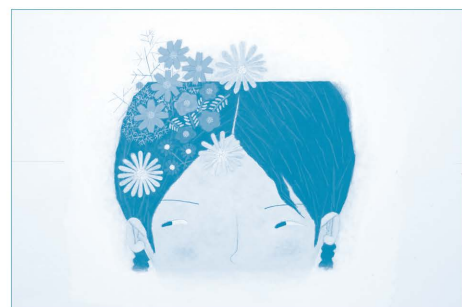
晩年の南吉



子どものころの南吉



『久助君の話』(昭和21年、中央出版)
南吉の子ども時代と重なる「久助君」



新美南吉童話傑作選『花をうめる』表紙原画
(平成16年、小峰書店) 画・杉浦範茂

▶展示構成と取り扱い作品

第1章 子どものころ

・小説「家」、「川」〈A〉、「雀」ほか

第2章 文学に目覚め、生きる

・小説「花を埋める」、「(無題)」「中学二年生の時」、「帰郷」、「小さい薔薇の花」、「天狗」ほか

入館無料

新美南吉生誕祭

7/30(木) 「南吉さんの日」
(誕生日)式典など

8/1(土) 人形劇、
正八ちゃんの宵祭りなど

8/2(日) 大型紙芝居、
うぐいす笛を作ろう

300万本の彼岸花 9月下旬～10月上旬

・矢勝川堤に300万本の彼岸花が咲きほこります

・まつりの開催や駐車場規制についてはホームページをご覧ください

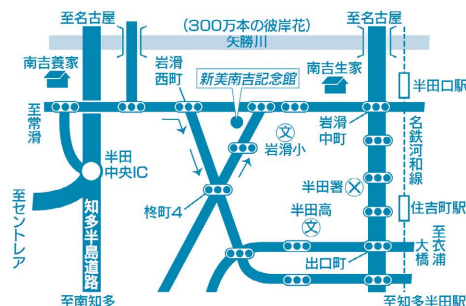


新美南吉記念館

TEL 0569-26-4888

公式HP・SNSもご覧ください。

新美南吉記念館



【交通】名鉄河和線／半田口駅より西へ徒歩20分
知多半島道路／半田中央ICより東へ5分
半田市地区路線バス「ごんくる」／知多半田駅
(雁宿ホール前)の停留所より15分